

## 第1回「木炭まつり」を開催しました

本県の木炭生産量は全国の約3割を占めており、約9割を県北地域で生産しています。この日本一の炭の里で開催された久慈地方産業まつりにおいて、10月17日(土)・18日(金)の2日間にわたり第1回「木炭まつり」を開催しました。

この取組は、地元の皆さんに岩手木炭の良さをPRするとともに、生産者の生産意欲の向上を図ることを目的に、木炭生産者の団体である「北いわて木炭産業振興協議会」が主体となり、振興局林務部が企画・連絡調整・実行の支援を行い、実現したものです。

### 1 木炭まつり

うちわを使って1kgの木炭を素早くおこす「木炭早おこしバチバチ対決」、販売用のクラフト袋にちょうど3kgの木炭をきれいに詰める「3キロ木炭袋詰め選手権」の2つのイベントを実施するとともに、会場内で購入した食材をその場で調理できる「木炭コンロ村」を設置しました。

「木炭早おこしバチバチ対決」、「3キロ木炭袋詰め選手権」には多くの人が集まり、参加者からは「初めての体験だった」、「火をおこすのが大変だった」との感想のほか、観客からは「参加すればよかった～」との声が聞かれ、イベントを通じて、木炭に関心を持ってもらうことができました。一方、「木炭コンロ村」では周知不足のためか利用者が少なく、今後の課題とな

りました。



【木炭早おこしバチバチ対決】



【3キロ木炭袋詰め選手権大会】

### 2 今後の支援

今回初めて実施した「木炭まつり」ですが、参加者の反応も良く、産業まつりの運営側からも、来年以降の継続開催を望む声が上がっています。

振興局林務部では、今後も、岩手木炭の利用促進や木炭生産者の生産意欲の向上等を図るため、生産者団体等の取組を支援します。